第４３回全日本バトントワーリング選手権関東支部大会

実 施 要 項

開催日	２０１８年２月１０日（土）・１１日（祝日）
会　場	さいたま市記念総合体育館
主　催	日本バトン協会関東支部

目　　次

大会概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ ２～３

第４３回全日本バトントワーリング選手権大会　予選の部　・・・・・・・・Ｐ ４～１８

第３４回世界バトントワーリング選手権大会予選　関東支部選考の部　・・Ｐ １９～２８

エントリーと支部別出場割り当て表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ １６～１８
Ｐ ２９

各種申し込みについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ ３０～３１

郵便局払込取扱票　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ ３２

大　会　概　要

【大 会 名 称】　第４３回全日本バトントワーリング選手権関東支部大会

【日　　　時】　２０１８年２月９日（金）１９：００～（予定）
　第３４回世界バトントワーリング選手権大会予選　関東支部選考の部
　≪出場人数により行う場合もある≫
２０１８年２月１０日（土）９：３０～１９：３０（予定）
　第４３回全日本バトントワーリング選手権大会　予選の部　準々決勝・準決勝
　第３４回世界バトントワーリング選手権大会予選　関東支部選考の部
　フリースタイル個人（コンパルソリー・ショートプログラムを含む）
　フリースタイルペア・フリースタイルチーム
２０１８年２月１１日（日）　９：００～１８：３０（予定）
　第４３回全日本バトントワーリング選手権大会　予選の部　準決勝・決勝
　第３４回世界バトントワーリング選手権大会予選　関東支部選考の部
　フリースタイル個人（コンパルソリー・ショートプログラムを含む）
　フリースタイルペア・フリースタイルチーム

【会　　　場】　さいたま市記念総合体育館　〒３３８－０８３５　埼玉県さいたま市桜区道場４－３－１
＜アクセス＞
・JR 京浜東北線「浦和」駅　国際興業バス②乗り場より「桜区役所」行き乗車
　→桜区役所下車　徒歩１分
・JR 埼京線「中浦和」駅　国際興業バス乗り場より「桜区役所」行き乗車
　→桜区役所下車　徒歩１分

【主　　　催】　日本バトン協会関東支部

【大会事務局】　〒１２４－００２４　東京都葛飾区新小岩１－４２－１１ 中屋ビル３０４号室
　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０３－５８７９－６４６６　日本バトン協会関東支部

【後　　　援】　埼玉県・埼玉県教育委員会・（公財）埼玉県体育協会・さいたま市
（予定）　(公財)さいたま市体育協会・NHK さいたま放送局・株式会社テレビ埼玉
株式会社 FM NACK5・株式会社埼玉新聞社・一般社団法人日本バトン協会

【主　　　旨】　本大会は、競技バトンの普及発展及び資質の向上をはかり、スポーツ芸術・文化の発展に寄与することを目的とし、その活動を通して青少年の健全育成と豊かな人間形成に貢献する精神のもとに行われる。
全日本選手権予選の部は、「第４３回全日本バトントワーリング選手権大会」の関東予選として開催され、種目はソロトワール･トゥーバトン･スリーバトン･ダンストワール・ソロストラット･ペアの６種目を実施する。
また、「第３４回世界バトントワーリング選手権大会日本代表選考」の関東支部選考の部としてフリースタイル個人（コンパルソリー・ショートプログラムをむ）・フリースタイルペア・フリースタイルチームを実施する。
世界バトントワーリング選手権関東支部予選とは世界スポーツバトンの向上と発展、選手、国際間の友好を目的として設立された。世界バトントワーリング連合【WORLD BATON TWIRLING　FEDERATION】が､芸術､スポーツとしてのバトントワーリング競技の確立と普及､

更にはオリンピックへの正式種目を最大の目標として隔年で開催される大会である。今大会は、第３４回世界バトントワーリング選手権大会　日本代表選考に選出する為の関東支部選考として実施する。

第４３回全日本バトントワーリング選手権大会予選の部

１.　出場資格

(1) 参加者は、2017年11月24日(金)現在、一般社団法人日本バトン協会に2017年度加盟登録をしている関東支部の団体に構成員登録をしていること。

(2) 参加者は、参加申込書を期日**2017年11月24日(金)必着**にて事務局に送ること。

(3) 参加者は、参加費を郵便局備付の払込取扱票にて、**2017年11月24日(金)**までに振り込むこと。

(4) 参加者は、参加に際し一般社団法人日本バトン協会2017年度ワッペンを着装すること。

(5) 一選手の出場は２種目までとする。

２.　種目に関しての規定

(1) ソロトワール

(2) トゥーバトン

(3) スリーバトン

(4) ダンストワール

(5) ソロストラット

(6) ペア

３.　部門に関する規定（Ｕ･･･アンダー／Ｏ･･･オーバー）

(1) 部門は以下の通りとする。　※未就学は含まない

【ソロトワール】

①	女子Ｕ－９	７歳（2011年4月1日）～　９歳（2008年4月2日）
②	女子Ｕ－１２	１０歳（2008年4月1日）～１２歳（2005年4月2日）
③	女子Ｕ－１５	１３歳（2005年4月1日）～１５歳（2002年4月2日）
④	女子Ｕ－１８	１６歳（2002年4月1日）～１８歳（1999年4月2日）
⑤	女子Ｕ－２２	１９歳（1999年4月1日）～２２歳（1995年4月2日）
⑥	女子Ｏ－２３	２３歳（1995年4月1日）以上
⑦	男子ＪｒＵ－１２	７歳（2011年4月1日）～１２歳（2005年4月2日）
⑧	男子ＪｒＵ－１７	１３歳（2005年4月1日）～１７歳（2000年4月2日）
⑨	男子Ｓｒ	１８歳（2000年4月1日）～２２歳（1995年4月2日）
⑩	男子Ａｄ	２３歳（1995年4月1日）以上

【トゥーバトン・スリーバトン】

①	女子Ｕ－１２	７歳（2011年4月1日）～１２歳（2005年4月2日）
②	女子Ｕ－１５	１３歳（2005年4月1日）～１５歳（2002年4月2日）
③	女子Ｕ－１８	１６歳（2002年4月1日）～１８歳（1999年4月2日）
④	女子Ｏ－１９	１９歳（1999年4月1日）以上
⑤	男子ＪｒＵ－１２	７歳（2011年4月1日）～１２歳（2005年4月2日）
⑥	男子ＪｒＵ－１７	１３歳（2005年4月1日）～１７歳（2000年4月2日）
⑦	男子Ｓｒ	１８歳（2000年4月1日）～２２歳（1995年4月2日）
⑧	男子Ａｄ	２３歳（1995年4月1日）以上

【ダンストワール・ソロストラット】

① Ｕ－１２　　７歳（2011 年 4 月 1 日）～１２歳（2005 年 4 月 2 日）
② Ｕ－１５　　１３歳（2005 年 4 月 1 日）～１５歳（2002 年 4 月 2 日）
③ Ｕ－１８　　１６歳（2002 年 4 月 1 日）～１８歳（1999 年 4 月 2 日）
④ Ｏ－１９　　１９歳（1999 年 4 月 1 日）以上

※性別区分は行わない。

【ペア】

① Ｕ－１２　　７歳（2011 年 4 月 1 日）～１２歳（2005 年 4 月 2 日）
② Ｕ－１５　　１３歳（2005 年 4 月 1 日）～１５歳（2002 年 4 月 2 日）
③ Ｕ－１８　　１６歳（2002 年 4 月 1 日）～１８歳（1999 年 4 月 2 日）
④ Ｏ－１９　　１９歳（1999 年 4 月 1 日）以上

※性別区分は行わない。２人の内、年齢が上の選手の部門とする。
※補欠は認めない。

４．準々決勝・準決勝・決勝に関する規定

(1) エントリー数により大会実行委員会が決定する。

５．演技順に関する規定

(1) 大会実行委員会にて抽選により決定する。
(2) 準決勝・決勝進出者の演技順はセット番号の早い順を基本とする。

６．審査、順位に関する規定

(1) 審査員長、審査員の人数及び役割は次の通りとする。
① 審査員長は審査の円滑な遂行を総括する。
② 審査員は準々決勝・準決勝・決勝共に 5 名とする。
③ ペナルティ審査員は 1 名とする。

(2) 成績は次の通りとする
① 準々・準決勝は各審査員の得点から（10 点法小数点第 2 位まで）ペナルティ審査員の点数を差し引き、席次点を上下カットし集計したものとする。
② 複数コートで行う準々決勝においては各審査員の得点を上下カットし集計したものとし、準決勝進出最終順位が同位の場合は、全員が準決勝に進出する。
③ 決勝は各審査員の得点から（10 点法小数点第 2 位まで）ペナルティ審査員の点数を差し引き、席次点を上下カットし集計したものとする。

(3) 順位の決定は次の通りにする
① 複数コートにおいての準決勝進出者は得点の高い順とする。
② 決勝進出者は８位までを基本とする。
席次同点が出た場合は同位者のみ全審査員の席次合計を行い、決勝進出者を決定する。
席次合計同点が出た場合は得点を上下カットしたものを集計、更に同点が出た場合は全審査員の得点の合計を行い、決勝進出者を決定する。
尚、決勝進出最終順位が同点、同席次の場合は全員が決勝に進出する。

(4) 各部門共決勝の成績により８位まで順位を決定する。尚、同位者が出た場合は次の手順に従って順位を決定する。

① 各審査員の得点からペナルティ審査員の減点を差し引き、全審査員の席次点合計
② 各審査員の得点からペナルティ審査員の減点を差し引き、全審査員の点数を上下カットした合計
③ 各審査員の得点からペナルティ審査員の減点を差し引き、全審査員の点数合計
④ ①②③の方法によっても尚、同点同次席になった場合は同位とし、次位を空位とする。
⑤ 決勝を棄権した場合は決勝の最下位とする。

※審査方法は全日本選手権の審査方法で行う。

[６種目の審査は部門にかかわらず下記の５つのレベルで評価]

フェア [0.0～2.9]
基本的なトワリングとボディワークの習得レベル

アベレージ [3.0～4.9]
基本から展開が見られるレベル

グッド [5.0～6.9]
３モードでの展開が見られ、バラエティー・ディフィカルティーが見られるレベル

エクセレント [7.0～8.9]
正確で、質の高いトワリングとボディワークに、バラエティー・ディフィカルティーが見られるレベル

スペリア [9.0～10.0]
すべてにおいてバランスがとれ、リスクの高さ・質・難易度共に最高のレベル

７． 表彰に関する規定

(1) 原則として各部門共８位まで入賞とし、賞状及び副賞を授与する。

８． コスチュームに関する規定

【 ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／ペア／ソロストラット共通 】

(1) 自由（女子はパンツスタイル不可）

【 ダンストワール 】

(1) 自由（小道具・帽子着脱は不可）

９． 推薦に関する規定

(1) 本大会の上位者を関東支部より全日本バトントワーリング選手権大会に推薦する。
(2) 全日本バトントワーリング選手権大会推薦の最終順位が、同点・同席次の場合は、再演技にて推薦者を決定する。

［全日本バトントワーリング選手権大会への推薦者の手続き］

全日本選手権大会の実施要項に従い、「第４３回全日本バトントワーリング選手権大会事務局」へ申し込むこと。
各支部より推薦された出場者は、参加申込用紙に必要事項を記入し登録団体毎にデータで提出をすること。
※申込用紙はＨＰからダウンロードして下さい。
※すべての参加申し込み申請の〆切は、2018 年 2 月 26 日(月)17 時までとする。

１０．競技におけるアクシデントに関する規定

(1) 大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について、再演技の判断は、団体責任者・本人・審査員長・実行委員長が協議し決定をする。
(2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までを採点対象とする。
(3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は、演技を行ったところを採点対象とする。演技コートにいない場合は棄権とみなす。

審 査 規 定　＜６ 種 目 別＞

【ソ ロ ト ワ ー ル】

１．部門は次の通りとする。

⑴ 女子ソロトワール

Ｕ－　９（ 7歳～ 9歳）　Ｕ－１２（10歳～12歳）　Ｕ－１５（13歳～15歳）

Ｕ－１８（16歳～18歳）　Ｕ－２２（19歳～22歳）　Ｏ－２３（23歳以上）

⑵ 男子ソロトワール

ＪｒＵ－１２（ 7歳～12歳）　ＪｒＵ－１７（13歳～17歳）

Ｓｒ　（18歳～22歳）　Ａｄ　（23歳以上）

２．演技に関する規定

⑴ 演技人数　…１名

⑵ 演技に使用するバトン …レギュラーバトン１本

⑶ 演技スペース　…横７ｍ×縦７ｍの広さを目安とする

⑷ 課題曲（時間）　…Solo Special （約１分４５秒）

⑸ 演技内容　…１本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成　以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

① イントロダクション（オープニング サリュートは自由）

② ３モード　エーリアル［バーティカル・フラット（ホリゾンタル）］

ロール　［バーティカル・フラット（ホリゾンタル）］

コンタクト マテリアル　［バーティカル・フラット（ホリゾンタル）］

③ エンディング（エンディング サリュートは自由）

※フロアワークは組み入れない方が望ましい。

３．審査内容

⑴ 内容

① バラエティー

・３モードのバランス／両手使い

② ディフィカルティー

・バトンとボディの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

⑵ 実施

① テクニック

・バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／リズム・タイミングのコントロール

② パフォーマンス＆エクスプレッション

・プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対しての一体感

③ スピード

・バトンの回転だけでなく、全体（３モード）を通しての一貫したスピード／スピードコントロール

(3) ペナルティ　　※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

① ドロップ　　　　１本につき０．１点減点

② 転倒　　　　　　部分転倒１回につき０．１点減点　全転倒１回につき０．２点減点

③ アンダータイム　出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計３２拍を超えた場合０．２点減点

（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

【トゥーバトン】

１．部門は次の通りとする。

(1) 女子トゥーバトン

Ｕ－１２（ 7歳～12歳）　　Ｕ－１５（13歳～15歳）

Ｕ－１８（16歳～18歳）　　Ｏ－１９（19歳以上）

(2) 男子トゥーバトン

ＪｒＵ－１２（ 7歳～12歳）　ＪｒＵ－１７（13歳～17歳）

Ｓｒ　　（18歳～22歳）　Ａｄ　　（23歳以上）

２．演技に関する規定

(1) 演技人数　…１名

(2) 演技に使用するバトン　…レギュラーバトン２本

(3) 演技スペース　…横７ｍ×縦７ｍの広さを目安とする

(4) 課題曲（時間）　…Two Baton・Three Baton ＆ Pair Special（約１分３０秒）

(5) 演技内容　…２本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

① コンタクト マテリアル　（２本のバトンを身体の近くで行うトワール）

② ロール　（両手を使ったロール。又は空中で１本のバトンが高く、もう１本がロールの組み合わせ）

③ ハイ ロー　（空中で1本のバトンが高く、もう１本が低いエーリアル。又は１本が高くもう１本はコンタクト　マテリアル等の組み合わせ）

④ ダブル トス トリック　（２本同時に空中へトス）

⑤ ジャグル　（片手で連続的なリリースとキャッチ。例：片手で２本のバトンを交互にトス）

⑥ シャワー　（両手で連続的なリリースとキャッチ。例：１本のバトンをトスしている間にもう１本をパスして最初のバトンをキャッチ）

⑦ コンプレックス トリック　（複雑なトリック･リリース･レセプション）

３．審査内容

(1) 内容

① バラエティー

・コンタクト マテリアル／ロール／ハイ ロー／ダブル トス トリック／ジャグル／シャワー／コンプレックス トリック

② ディフィカルティー

・バトンとボディの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

⑵ 実施

① テクニック

・バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／トゥーバトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／リズム・タイミングのコントロール

② パフォーマンス＆エクスプレッション

・プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対しての一体感

③ スピード

・バトンの回転だけでなく全体を通しての一貫したスピード／スピードコントロール

⑶ ペナルティ　※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

① ドロップ　　１本につき０．１点減点

② 転倒　　部分転倒１回につき０．１点減点　全転倒１回につき０．２点減点

③ アンダータイム　出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計３２拍を超えた場合０．２点減点
（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

【スリーバトン】

１．部門は次の通りとする

⑴ 女子スリーバトン

Ｕ－１２（ 7歳～12歳）　Ｕ－１５（13歳～15歳）

Ｕ－１８（16歳～18歳）　Ｏ－１９（19歳以上）

⑵ 男子スリーバトン

ＪｒＵ－１２（ 7歳～12歳）　ＪｒＵ－１７（13歳～17歳）

Ｓｒ（18歳～22歳）　Ａｄ（23歳以上）

２．演技に関する規定

⑴ 演技人数　…１名

⑵ 演技に使用するバトン　…レギュラーバトン３本

⑶ 演技スペース　…横７ｍ×縦７ｍの広さを目安とする

⑷ 課題曲（時間）　…Two Baton・Three Baton ＆ Pair Special（約１分３０秒）

⑸ 演技内容　…３本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

① カスケード　（左右交互に行われるリリースとキャッチ）

② シャワー　（両手による継続的なリリースとキャッチ）

③ ジャグル　（片手による継続的なリリースとキャッチ）

④ ダブルトス ―シングルトス（２本同時に空中へトスし、それとコーディネーションして残りもう１本を続いてトスする）

⑤ ハイ ロー　（高いエーリアルの下でトゥーバトンの技を行うこと）

⑥ スタックス　（高いエーリアルの下に低いエーリアルを投げあげ、その下でコンタクトマテリアル
を行う）
⑦ トリプルトス（３本のバトンが同時に空中にある状態のこと）

３．審査内容
(1) 内容
① バラエティー
・シークエンスの広がりと変化、それらのミックス／両手使い／コンタクト マテリアル、
ロール／パターン、プレーン、ディレクションの扱い方
② ディフィカルティー
・密度／リリース、レセプションの困難度／リスク／エーリアル

(2) 実施
① テクニック
・バトンの精密さ、安定度／コレクション／リズム、タイミングのコントロール／
バトンとボディのブレンド及びスピード／フォロースルー、パターンチェンジ、
レボリューションの正確さ
② パフォーマンス＆エクスプレッション
・エンターテインメント性／持続力＆スタミナ／自信のある演技／リカバリー能力
③ デマンド
・継続性／同時責任性／ビジュアルトラッキング／空間構成能力

(3) ペナルティ　※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。
① ドロップ　　　　１本につき０．１点減点
② 転倒　　　　　　部分転倒１回につき０．１点減点　　全転倒１回につき０．２点減点
③ アンダータイム　出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計３２拍を超えた場合０．２点減点
（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

【ペ　　ア】
１．部門は次の通りとする
Ｕ－１２（ 7歳～12歳）　　　Ｕ－１５（13歳～15歳）
Ｕ－１８（16歳～18歳）　　　Ｏ－１９（19歳以上）
※ 性別区分は行わない。２人の内、年齢が上の選手の部門とする。

２．演技に関する規定
(1) 演技人数　…２名
(2) 演技に使用するバトン　…レギュラーバトン２本（各１本）
(3) 演技スペース　…横８ｍ×縦８ｍの広さを目安とする
(4) 課題曲（時間）　…Two Baton・Three Baton ＆ Pair Special （約１分３０秒）
(5) 演技内容　…二人で、バトンとボディワークの調和した技術を競う

ルーティーン構成

① ソロトワールと同様であるが、エクスチェンジなどペア要素を重視したもので構成する
※二人がソロトワール的に同じことを行うだけではなく、ペアの特色を生かした演技をすることに価値がある

３．審査内容

(1) 内容

① バラエティー
・３モードのバランス／エクスチェンジ／ペアワーク／フロアパターン

② ディフィカルティー
・バトンとボディワークの困難度／シンクロナイゼーションの困難度／コーディネーションの困難度

(2) 実施

① テクニック
・バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／ペアのコントロール／リズム・タイミングのコントロール

② パフォーマンス＆エクスプレッション
・ペアとしての責任／プロジェクション（意気込み）／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力

③ スピード
・バトンの回転だけでなく一貫したスピード／二人の統一したスピード

(3) ペナルティ　※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

① ドロップ　　１本につき０．１点減点
② 転倒　　部分転倒１回につき０．１点減点　全転倒１回につき０．２点減点
③ アンダータイム　出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計３２拍を超えた場合０．２点減点
（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

【ソロストラット】

１．部門は次の通りとする

Ｕ－１２（ 7歳～12歳）　Ｕ－１５（13歳～15歳）
Ｕ－１８（16歳～18歳）　Ｏ－１９（19歳以上）
※ 性別区分は行わない。

２．演技に関する規定

(1) 演技人数　…１名
(2) 演技に使用するバトン　…レギュラーバトン１本
(3) 演技スペース　…横１５ｍ×縦１０ｍの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
(4) 課題曲（時間）　…栄光へのマーチ（約１分３０秒）
(5) 演技内容　…マーチのリズムの中で、優雅で気品のあるボディワークとバトンの技術を競う

ルーティーン構成

① イントロダクション　　　８拍
② ミリタリーストラット ３２拍
③ プレゼンテーション　　３２拍
④ フォワードモーション ９６拍
⑤ エンディング　　　　　１６拍

構 成 内 容

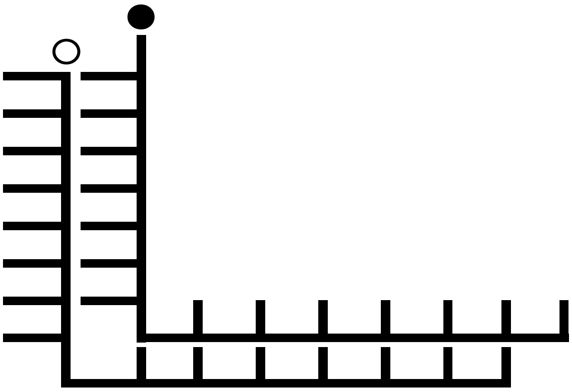
I. イントロダクション

・振り付けは自由だが、ミリタリーストラットに導入しやすい動作　（アテンション・サリュート等）

II. ミリタリーストラット　（ダブルＬ字ストラット）

・足の動き …… 審査員に向かってベーシックストラット（腿は、床と平行になる）で８拍前進、８歩目（右足）を踏み出すと同時に右足を軸にして左に９０度方向変換、新方向へ左足より７拍前進、７歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右廻りで１８０度方向変換、右足より８拍前進、８歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右に９０度方向変換、審査員を後ろにし、８拍前進、９歩目で右足を左足に揃える。

FM8 (LS ON8)
FM8 (TTR ON7)
FM8 (RS ON7)
FM8 (Ⓗ ON8)



審 査 員 席

・右手はビートタイム（拍子をとる）〔指揮杖でバンドを指揮するような動作〕
・左手は、指を揃えて左腰におく
・足は、ベーシックストラット
・背中はまっすぐ正面（進行方向）を向く 顔は引き締める

III. プレゼンテーション

・自由に表現できるセクション

IV. フォワードモーション

・ビートに合わせてパレードを先導するように前進しながらバトンと優雅なボディワークを組み合わせ、フロアをデザインするセクション

V. エンディング

・全ての終わりを示し、自由に表現できるセクション。

３．審査内容

⑴ 内容

① イントロダクション・ミリタリー ストラット

・ビートタイム／ミリタリースタイル／ベーシックストラット

② プレゼンテーション・エンディング

・バトンとボディのバラエティー／ディフィカルティー／オリジナリティー

③ フォワードモーション

・バトンとボディの組み合わせのバラエティー、ディフィカルティー／
バトンとボディの組み合わせのオリジナリティー／フロアデザイン

⑵ 実施

① テクニック

・バトンとボディの調和と正確さ／シャープさ、柔軟性、優雅さ／リズムのとり方／
ボディコントロール

② パフォーマンス＆エクスプレッション

・パレードを先導する演技／アピール性、自信／リカバリー能力

③ アウトオブステップ

・フォワードモーションにおける足踏みの誤りを指し、奇数は左足、偶数は右足でステップする。
両足は１拍までとする。
例：ダブルイリュージョンはステップを踏み変える事

⑶ ペナルティ　※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

① ドロップ　１本につき０．１点減点

② 転倒　部分転倒１回につき０．１点減点　全転倒１回につき０．２点減点

③ アンダータイム　出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計３２拍を超えた場合０．２点減点
（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

【ダンストワール】

１．部門は次の通りとする

Ｕ－１２（ 7歳～12歳）　Ｕ－１５（13歳～15歳）
Ｕ－１８（16歳～18歳）　Ｏ－１９（19歳以上）
※性別区分は行わない。

２．演技に関する規定

⑴ 演技人数　…１名
⑵ 演技に使用するバトン　…レギュラーバトン１本
⑶ 演技スペース　…横１５ｍ×縦１０ｍの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
⑷ 課題曲（時間）　…輝きの時　（約１分３４秒）
⑸ 演技内容　…バトンとダンスワークのブレンドが、音楽に調和した技術を競う

ルーティーン構成

① 音楽のテンポ、リズム、フレーズに合わせ、曲想表現ができるよう、様々なダンスワークとバトンをブレンドし構成する。

３．審査内容

⑴ 内容

① コレオグラフィー

・バトンとダンスワークの組み合わせ／音楽に合った構成・振り付け／チェンジオブペース／フロアの使い方・ステージング

② バトンとダンスのブレンド

・バトンのバラエティー・ディフィカルティー／ ダンスワークのバラエティー・ディフィカルティー／ バトンとダンスのコンビネーション／シリーズのディフィカルティー／オリジナリティー

⑵ 実施

① テクニック

・バトン・ボディの正確さ・明確さ／動きの熟練度・質／リズム・タイミング／音楽との関わり・調和／ダンスワークの質／ボディコントロール

② パフォーマンス＆エクスプレッション

・ショーマンシップ・エンターテインメント性／自信

⑶ ペナルティ　　※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

① ドロップ　　　　１本につき０．１点減点

② 転倒　　　　　　部分転倒１回につき０．１点減点　　全転倒１回につき０．２点減点

③ アンダータイム　出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計３２拍を超えた場合０．２点減点
（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

支部別出場枠数

（１）以下の通りすべて支部推薦とする。

（２）支部別出場割当枠数は下記の通りとする。

① 支部別出場割当枠は過去の支部大会出場人数の割合を元に算出する。
② ６種目の前年度各部門優勝者登録支部に優勝枠（枠数の下線箇所）として１枠追加する。
③ 部門ごとの自由枠は記載の通りとし、開催地における支部は２枠追加する。
④ 支部大会の実情に合わせ、割当枠に自由枠を加算することができる。ただし、１部門２枠までの使用とする。

			北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計
ソロトワール	女子	U-9（７～９才）	2	2	3	2	2	4	4	1	6	1	27
		U-12（10～12才）	2	2	5	4	5	6	4	1	5	1	35
		U-15（13～15才）	1	3	5	4	5	5	5	2	5	0	35
		U-18（16～18才）	1	1	4	3	5	5	2	1	4	1	27
		U-22（19～22才）	0	1	5	0	4	6	1	0	2	0	19
		O-23（23才以上）	0	0	5	0	0	2	1	0	1	0	9
	男子	JrU-12（７～12才）	1	1	3	1	1	3	4	1	4	0	19
		JrU-17（13～17才）	1	0	4	2	2	3	2	0	5	0	19
		Sr（18～22才）	0	0	2	0	0	4	0	0	2	0	8
		Ad（23才以上）	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	自由枠		4	4	4	4	6	4	4	4	4	4	42
	計		12	14	40	20	30	43	27	10	38	7	241

			北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計
トゥーバトン	女子	U-12	1	1	3	2	2	2	3	1	6	0	21
		U-15	1	1	3	2	3	3	2	1	5	0	21
		U-18	1	1	3	1	4	5	1	0	5	0	21
		O-19	0	1	2	0	2	2	1	0	3	0	11
	男子	JrU-12	1	1	2	0	1	1	2	1	1	0	10
		JrU-17	2	0	1	2	1	2	1	0	2	0	11
		Sr	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		Ad	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自由枠		3	3	3	3	5	3	3	3	3	3	32
	計		9	8	17	10	18	19	13	6	25	3	128
スリーバトン	女子	U-12	0	0	4	0	1	2	1	0	2	0	10
		U-15	1	0	2	0	3	1	1	0	3	0	11
		U-18	1	0	3	0	2	1	1	0	2	0	10
		O-19	1	0	1	0	4	3	0	0	2	0	11
	男子	JrU-12	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		JrU-17	1	1	3	1	0	1	1	0	1	0	9
		Sr	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		Ad	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	自由枠		3	3	3	3	5	3	3	3	3	3	32
	計		7	4	17	4	16	12	7	3	13	3	86
ペア		U-12	2	2	6	2	3	2	3	1	5	1	27
		U-15	1	4	4	4	4	2	2	1	5	0	27
		U-18	1	1	4	1	2	2	2	0	4	0	17
		O-19	0	0	4	1	1	3	1	0	1	0	11
		自由枠	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	22
		計	6	9	20	10	14	11	10	4	17	3	104

		北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計
ソロストラット	U-12	0	1	4	3	1	4	2	1	4	1	21
	U-15	1	4	5	3	4	5	2	1	6	0	31
	U-18	1	2	5	1	2	4	1	0	5	0	21
	O-19	0	1	4	0	2	3	0	0	1	0	11
	自由枠	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	22
	計	4	10	20	9	13	18	7	4	18	3	106
ダンストワール	U-12	3	4	5	4	3	3	3	2	5	1	33
	U-15	2	4	5	4	5	4	3	1	5	0	33
	U-18	2	3	5	2	4	5	2	1	6	1	31
	O-19	0	1	5	0	3	5	1	0	2	0	17
	自由枠	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	22
	計	9	14	22	12	19	19	11	6	20	4	136

第３４回世界バトントワーリング選手権大会予選関東支部選考の部

１．出場資格

(1) 参加者は、2017年11月24日(金)現在、一般社団法人日本バトン協会に2017年度加盟登録をしている関東支部の団体に構成員登録をしていること。

(2) 参加者は、参加申込書を期日2017年11月24日(金)必着にて事務局に送ること。

(3) 参加者は、参加費を郵便局備付の払込取扱票にて、2017年11月24日(金)までに振り込むこと。

(4) 参加者は、参加に際し一般社団法人日本バトン協会2017年度ワッペンを着装すること。

(5) 全日本バトントワーリング選手権大会　予選の部と重複エントリーができる。

２．種目に関する規定

●種目は以下の通りとする。

(1) フリースタイル個人（コンパルソリー・ショートプログラム）

(2) フリースタイルペア

(3) フリースタイルチーム

実 施 規 定　＜種 目 別 規 定＞

【フ リ ー ス タ イ ル 個 人】※コンパルソリーまたはショートプログラム含む

(1) 部門に関する規定

●年齢及び性別は次の通りとし、2018年12月31日までに繰り上がる年齢を示す。

① 女子ジュニア部門　１２歳（2006年12月31日生まれ）～１７歳（2001年1月1日生まれ）

② 女子シニア部門　１８歳（2000年12月31日生まれ）以上

③ 男子ジュニア部門　１２歳（2006年12月31日生まれ）～１７歳（2001年1月1日生まれ）

④ 男子シニア部門　１８歳（2000年12月31日生まれ）以上

(2) 演技に関する規定

① 演技人数　…１名

② 演技に使用するバトン　…レギュラーバトン１本

③ 演技スペース　…横１８ｍ×縦１５ｍの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り、□の各ライン中央に印をつける
演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用の仕方等により得点を加味することがある

④ 演技曲(時間)　…自由曲
ジュニア部門 ： １分３０秒以上２分以内（過不足１０秒可）とする
シニア部門　： ２分以上２分３０秒以内（過不足１０秒可）とする

※フリースタイルの音楽は各参加者が選択し、CD‐Rにて事前に提出すること。（１選手につき１枚ごとのCD-Rの提出）

⑤ 入退場について　　　…※実行委員会の定めたものとする。
入退場は、曲（音楽）無しで行うこと

※ジュニア部門選手はコンパルソリー、シニア部門はショートプログラムを必須とする

(3) 審査内容

内容としてのガイドライン（WBTF ルールからの提案）

エーリアル　総数ジュニア５、シニア６が望ましい

・１つのコンティニアススピン
・１つのステーショナリーコンプレックス
・１つのトラベリングコンプレックス
・ジュニアはそれ以外に自由に２つ、シニアはそれ以外に自由に２～３つ
・１つはホリゾンタルのもの
・１つは左右グラブ、左右キャッチ以外のノンスタンタ―ドキャッチのもの

ロール　　ホリゾンタルとバーティカルの両方

コンタクトマテリアル　　ホリゾンタルとバーティカルの両方

① 技術

ア）テクニック
イ）スピード
ウ）３モード（エーリアル・ロール・コンタクトマテリアル）のバラエティー・ディフィカルティー
エ）ボディワークのバラエティー・ディフィカルティー
オ）ディフィカルティー
カ）クリアネス＆シュアネス

② 芸術

ア）ジェネラルコンテント
イ）ビジュアルミュージカリティー
ウ）空間の利用度
エ）チェンジオブペース
オ）スキルの要求度
カ）演技の優秀さ
キ）正確さ
ク）エンターテインメントの価値／プロフェッショナリズム

【コ ン パ ル ソ リ ー】

(1) 部門に関する規定

●年齢及び性別は次の通りとし、2018年12月31日までに繰り上がる年齢を示す。

① 女子ジュニア部門　　１２歳（2006年12月31日生まれ）～１７歳（2001年1月1日生まれ）
② 男子ジュニア部門　　１２歳（2006年12月31日生まれ）～１７歳（2001年1月1日生まれ）

(2) 演技に関する規定

① 演技人数 …１名
② 演技に使用するバトン…レギュラーバトン１本
③ 演技スペース …横９ｍ×縦７．５ｍの広さを目安とする
④ 演技曲 …無し（MC により各「レディ　ビギン」とスタート合図がある）
⑤ 入退場について …原則として、演技者は、名前をアナウンスされてから指定された順路で演技スペースに入る
所定の位置で４拍以内にポーズし、２HH になる。
演技終了後は、４拍以内でポーズし速やかに退場すること
※ショートプログラム課題曲が終了した時点から、静かなピアノ曲が流れる
⑥ 審査内容、規定演技内容

コンパルソリー(15種類)　(2016年WBTFルール変更)

ア）技術　ー　正確さ／明確さ　　　イ）ボディワーク　ー　正確さ／明確さ

Ａセット ー No.１．４．６．８．　９．１１．１４．１５
Ｂセット ー No.２．３．５．７．１０．１２．１３．１４

※日本バトン協会ＨＰ発表のものと同じとする。（1月下旬予定）

【ショートプログラム】

(1) 部門に関する規定

●年齢及び性別は次の通りとし、2018年12月31日までに繰り上がる年齢を示す。

① 女子シニア部門　１８歳（2000年12月31日生まれ）以上
② 男子シニア部門　１８歳（2000年12月31日生まれ）以上

(2) 演技に関する規定

① 演技人数 ･･･１名
② 演技に使用するバトン …レギュラーバトン１本
③ 演技スペース …横９ｍ×縦７．５ｍの広さを目安とする
④ 課題曲（時間） …女子 The Splendid World （華麗なる世界へ） １分２１秒
…男子 Challenging Into the Future（未来への挑戦） １分１９秒
⑤ 入退場について …原則として、演技者は、名前をアナウンスされてから指定された順路で演技スペ―スに入り、退場すること
※ショートプログラム課題曲が終了した時点から、静かなピアノ曲が流れる
⑥ 規定演技（2016 年 WBTF ルール変更）

ア）必須エレメント

1. トラベリングコンプレックス ー グランジュテ
（フリーアーム変更 詳しくはＷＢＴＦのＨＰ映像参照）
2. １スピンブラインドキャッチ
3. ４エルボーレイアウトロール
4. ２ 1/2 フラットバックネックロール
5. 左手ホリゾンタル右１スピン～バックキャッチ
（フォロースルーで左足をステップする際、２番ポジションのルルベアップを行う）

6. コンタクトマテリアル（２４拍）
（サムフリップ２か所は１～１半回転ショルダーラップの顔の向き正面に変更
詳しくはＷＢＴＦのＨＰ映像参照）
7. ステーショナリーコンプレックス － リバースイリュージョン
8. ２スピン左手キャッチ

イ）アクセサリーマテリアル
（各エレメントの合間に行われるつなぎの動作であり、それらは以下の限定がある）
1. コンタクトマテリアルモードのトワール
（フリップ、スウィング、ラップ、フルハンド、フィンガー、デッドスティック）
2. ハンドロール及びシングルエレメントロールは行って良い
3. ボディ／ダンスの動作
4. 規定されたアクロバティック動作
（カートウィール、イリュージョン、ウォークオーバー 片手／両手・前方／後方、
フロアロール等）空中アクロバティックや倒立は許可されてない

(3) 審査内容

① 必須エレメント 各１０点
ア）バトンとボディの正確さ
イ）バトンとボディの明確さ
② コンポジション １０点
ア）音楽との調和
イ）効果的なデザイン
③ パフォーマンス １０点
ア）表現力
④ 減点
アクセサリーマテリアルで違反がある場合２．０減点

【フリースタイルペア】
(1) 部門に関する規定
●年齢及び性別は次の通りとし、2018 年 12 月 31 日までに繰り上がる年齢を示す。
① ジュニア部門　　１２歳（2006年12月31日生まれ）～１７歳（2001年1月1日生まれ）
② シニア部門　　　１８歳（2000年12月31日生まれ）以上
※性別区分なし。２人の内、年齢の上の人の部門とする
（１名の補欠を用意することが出来る。混合ペアのみ、男子１名・女子１名の補欠を用意する事が出来る。但し、交代は１名までとする）
(2) 演技に関する規定
① 演技人数　　　　　　…２名
② 演技に使用するバトン …レギュラーバトン２本（各１本）

③ 演技スペース　　　　…横２５ｍ×縦１５ｍの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り、□の各ライン中央に印をつける
演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用の仕方等により得点を加味することがある

④ 演技曲(時間)　　　　…自由曲
ジュニア部門　：１分３０秒以上２分以内（過不足１０秒可）とする
シニア部門　　：２分以上２分３０秒以内（過不足１０秒可）とする
※フリースタイルの音楽は各参加者が選択し、CD－R にて事前に提出すること。（１ペアにつき１枚ごとの CD-R の提出）

⑥ 入退場について　　　…入退場は曲(音楽)無しで行うこと
※実行委員会の定めたものとする。

(3) 審査内容
① 内容
ア）バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
イ）エクスチェンジ
ウ）移動しながらのバトントワーリング
エ）両手使い
② 実施
ア）滑らかさと流れ
イ）音楽との関わりでの速さ
ウ）ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース＆キャッチ
エ）バトンとボディの正確な技術
オ）ペアワーク
③ 全体的効果
ア）音楽の解釈とビジュアルミュージカリティー
イ）時間と空間の利用
ウ）ステージング
エ）一貫性と論理的な展開
オ）エンターテインメントの価値
カ）表情と身仕舞い
キ）プロフェッショナリズム（リカバリー能力、ペアの責任）

【フリースタイルチーム】
(1) 部門に関する規定
●年齢及び性別は次の通りとし、2018年12月31日までに繰り上がる年齢を示す。
１２歳（2006年12月31日生まれ）以上、性別区分無し
６名以上８名以内とし、２名の補欠を用意することが出来る
(2) 演技に関する規定
① 演技人数　　　　　　…６名から８名
② 演技に使用するバトン …レギュラーバトン６本から８本（各１本）

③ 演技スペース　…横２５ｍ×縦１５ｍの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り□の各ライン中央に印をつける
演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用の仕方等により得点を加味することがある

④ 演技曲(時間)　…自由曲
３分以上３分３０秒以内（過不足１０秒可）とする
※フリースタイルの音楽は各参加者が選択し、CD-R にて事前に提出すること。
（１チームにつき１枚ごとの CD-R の提出）

⑤ 入退場について　…入退場は曲なしで行うこと。
※実行委員会の定めたものとする。

(3) 審査内容

① 内容
ア）バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
イ）エクスチェンジ
ウ）移動しながらのバトントワーリング
エ）両手使い

② 実施
ア）滑らかさと流れ
イ）音楽との関わりでの速さ
ウ）ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース＆キャッチ
エ）バトンとボディの正確な技術
オ）チームワーク

③ 全体的効果
ア）音楽の解釈とビジュアルミュージカリティー
イ）時間と空間の利用
ウ）ステージング
エ）一貫性と論理的な展開
オ）エンターテインメントの価値
カ）表情と身仕舞い
キ）プロフェッショナリズム（リカバリー能力、チームの責任）
※ 演技中に演技者は、声を掛け合わないこと

審　査　規　定

１．準決勝・決勝に関する規定
(1) エントリー数により大会実行委員会が決定する。

２．演技順に関する規定
(1) 大会実行委員会にて抽選にて決定する。
(2) 演技順は、セット番号の早い順を優先し、種目重複選手を考慮し大会実行委員会にて決定する。

３．審査に関する規定
(1) 審査員長、審査員の役割は次の通りとする。

① 審査員長は審査の円滑な遂行を統括する。

【フリースタイル個人】（コンパルソリーまたはショートプログラム含む）

1）審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。

① 審査員は、３名とする。

② 必要であれば、審判員の計時・罰則１名以上、フロアモニター１名以上用意できる。

2）選考の部は次の通りとする。

① ジュニア部門出場選手はコンパルソリーを必須とする。

② シニア部門出場選手はショートプログラムを必須とする。

3）選考順位の決定は次の通りとする。

① 審査員は１０点法（小数点第２まで）により採点する。

② フリースタイルの得点は、全審査員の最高点・最低点を除いた平均点の９０％と、コンパルソリー又はショートプログラムの得点の１０％を加算し集計する。

③ 同位になった場合のみ次の優先順位に従って順位を決定する。

優先順１　同位者のみ全審査員点数合計の平均点の９０％と、コンパルソリー又はショートプログラムの１０％を加算し算出し決定する。

優先順２　全審査員の投票によって決定する。

④ 順位は掲示せず、第３４回世界バトントワーリング選手権大会予選出場者として発表する。

※違反があった場合は、計時／ペナルティシートにて警告するが減点はしない。

【コンパルソリー】

1）審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。

① 審査員は３名とする。

② 必要であれば、審判員のフロアモニター１名以上用意できる。

2）成績は次の通りとする。

① ３名の審査員が、規定演技８種各１０点法（小数点第１位まで）により採点する。

② ３名の審査員の平均点を合計し、８０点満点を１００点に換算しその１０％が選手のコンパルソリー得点となる。

【ショートプログラム】

1）審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。

① 審査員は３名（必須エレメント１名・パフォーマンス・コンポジション１名・ペナルティ１名）とする。

② 必要であれば、審判員のフロアモニター１名以上用意できる。

2）成績は次の通りとする。

① 審査員〔必須エレメント〕が８種各１０点法（小数点第１位まで)、〔パフォーマンス・コンポジション〕が各１０点法（小数点第１位まで）の合計１００点法により採点する。

尚、〔ペナルティ〕違反行為（禁止動作）があった場合は１箇所につき２点減点を行う。

② 〔必須エレメント〕の平均点に、〔パフォーマンス・コンポジション〕の

平均点を加算し、

さらに〔ペナルティ〕の平均点を差し引き、その１０％が選手のショートプログラム得点となる。

【フリースタイルペア】

１）審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。

① 審査員は、３名とする。

② 必要であれば、審判員の計時・罰則１名以上、フロアモニター１名以上用意できる。

２）選考のための順位の決定は次の通りとする。

① １００点法（小数点第１位まで）により採点しドロップペナルティは行わず、各審査員が総合的に評価し採点する審査員の得点とする。

② 各審査員の得点より、全審査員の最高得点・最低点を除いた得点合計を集計する。

③ 同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。

優先順１　全審査員の得点合計を集計する。

優先順２　各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最高席次点・最低席次点を除いた席次点合計を集計する。

優先順３　全審査員の席次点合計を集計する

優先順４　全審査員の投票により決定する。

④ 順位は掲示せず、第３４回世界バトントワーリング選手権大会予選出場者として発表する。

※違反があった場合、計時／ペナルティシートにて警告するが減点はしない。

【フリースタイルチーム】

１）審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。

① 審査員は、５名とする。

② 必要であれば、審判員の計時・罰則１名以上、フロアモニター１名以上用意できる。

２）選考のための順位の決定は次の通りとする。

① １００点法（小数点第１位まで）により採点しドロップペナルティは行わず、各審査員が総合的に評価し採点する審査員の得点とする。

② 各審査員の得点より、全審査員の最高得点・最低点を除いた得点合計を集計する。

③ 同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。

優先順１　全審査員の得点合計を集計する。

優先順２　各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最高席次点・最低席次点を除いた席次点合計を集計する。

優先順３　全審査員の席次点合計を集計する。

優先順４　全審査員の投票により決定する。

④ 順位は掲示せず、第３４回世界バトントワーリング選手権大会予選出場チームとして発表する。

※違反があった場合、計時／ペナルティシートにて警告するが減点はしない。

コスチュームに関する規定

１．コンパルソリー・ショートプログラム共通

(1) 髪飾りは不可。

(2) コスチュームについては、女子はレオタード。男子は上着とパンツの長いもの、ジャンプスーツ可。
ベルト可。男女共、飾りは不可。

(3) 肌色のタイツを履いても良い。足首までのソックスは可。

(4) 靴の色は自由とする。

２．フリースタイル個人･フリースタイルペア・フリースタイルチーム共通

(1) WBTF 規定に準ずる。

(2) スポーツであることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。
手のひらと顔を覆うようなものは不可。

バトン、その他に関する規定

１．バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。グリップテープはシャフトの１／２をカバーすることが出来、センターから同等に巻く事。
グリップテープ以外のアタッチメントを付けてはならない。

２．演技スペースへタオル・パウダー等バトン以外を持ち込んではならない。

３．演技中の怪我のための包帯は可。

４．必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリー類は全て禁止する。

５．付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。

６．スポーツ競技であることを前提に、適度なメークアップは良い、装飾（顔に絵を描いたりすること）は禁止。

競技におけるアクシデントに関する規定

・大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について再演技の判断は、団体責任者・本人・審査員長・実行委員長が協議し決定をする。

・再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までを採点対象とする。

・選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は演技を行ったところを採点対象とする。演技コートにいない場合は棄権とみなす。

そ　の　他

(1) 大会の主旨に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止とする。

(2) 本実施要項の主旨を変更することなく、大会実行委員会において加除訂正を行うことができる

著作権について

●フリースタイル個人・フリースタイルペア・フリースタイルチーム共通
大会参加における著作権は著作権法に基づきこれを遵守すること。
音楽著作権使用許諾のある曲以外（自作曲を除く）は使用できません

１．音楽著作権使用許諾の申請

使用曲には音楽著作権使用許諾の申請が必要です。

(1) 使用曲の音源（全曲）については、各団体の責任において直接版権を持っている出版元に音楽使用許諾を行ってください。
(2) 許諾が下りるまでに日数がかかる場合がありますので注意してください。
(3) 自作曲の場合は、適用除外となります。
尚、著作権は著作者の死後５０年を経ると消滅する事が原則ですが、著作者の著作権の有無はJASRAC（日本音楽著作権協会）の団体管轄支部に直接お問い合わせ下さい。
（使用料等の金額並びに支払方法を提示される事があります。）
大会で使用した曲について万が一版元とのトラブルが生じた場合は団体の責任の下に処理して頂きますのでご承知おき下さい。

２．大会参加手続に関する提出書類

「音楽著作権使用許諾確認書」の提出

(1) 使用許諾の状況により、下記の添付書類の提出が必要です。

① 条件なしで許諾された
- 版元より出される確認書の写しまたは各団体で作成した確認書を添付

② 条件ありで許諾された（無料）
- 元より出される許諾を証明する書類の写しを添付

③ 条件ありで許諾された（有料）
- 版元より出される許諾を証明する書類の写し及び領収書・振込控等（コピー可）を添付すること

④ 許諾の必要がない（自作曲等）
- 書類添付の必要なし

尚、「各団体で作成した確認書」又は「版権を所有している団体で公式の許諾用書式がない場合」には以下を明記の上作成し提出してください。

- 版権所有の正式団体名
- 住所
- 電話番号／メールアドレス
- 担当者名
- 許諾に関する対応をされた期日

※著作権に関する書類（添付書類を含む）の提出は事前郵送です。
録音利用明細書・演奏利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書を記入して下さい。
尚、著作権に関する書類、使用曲音源のCD－Rは、2018年1月11日(木)までに
大会事務局まで送付ください。

エントリーと支部別出場枠数

（１）すべて支部推薦とする。

（２）支部別出場割当枠数は下記の通りとする。

支部大会の実情に合わせ、割当枠に自由枠を加算することができる。ただし、１部門２枠までの使用とする。

			北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計
フリースタイル個人	女子	Jr	0	1	14	2	4	14	0	1	13	0	49
		Sr	0	1	8	0	5	6	1	0	6	0	27
	男子	Jr	0	0	1	1	0	3	0	0	2	0	7
		Sr	0	0	1	1	0	4	0	0	2	0	8
	自由枠		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
	計		2	4	26	6	11	29	3	3	25	2	111
フリースタイルペア		Jr	0	0	0	0	2	1	0	0	2	0	5
		Sr	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	5
		自由枠	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		計	1	2	1	1	3	5	2	1	3	1	20
フリースタイルチーム			0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	5
		自由枠	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		計	1	1	1	1	3	4	1	1	1	1	15

各種申込について

1．参加申込

(1) 参加の希望がある団体は下記のアドレスにメールにて参加申込書のフォーマットを請求すること。
必要事項を入力し、2017年11月24日（金）までに大会アドレスまでデータにて提出すること。
大会Ｅメールアドレス　kanto43@tbz.t-com.ne.jp

2．参加費

(1) 参加費は郵便局備付けの払込取扱票にて 2017 年 11 月 24 日（金）迄に振込むこと。
(2) 一度納入された参加費は原則として払い戻しはしない。

① 団体参加費　1,000 円（送料、手数料として）

② 全日本バトントワーリング選手権大会　予選の部

ソロトワール	6,000 円
トゥーバトン	6,000 円
スリーバトン	6,000 円
ダンストワール	6,000 円
ソロストラット	6,000 円
ペア	10,000 円

③ 世界バトントワーリング選手権大会予選　関東支部選考の部

フリースタイル個人	10,000 円（※コンパルソリー・ショートプログラム費用を含む）
フリースタイルペア	15,000 円
フリースタイルチーム	30,000 円

3．入場券（プログラム付）

前売り券：両日 3,500 円、　各日 2,000 円　　当日券：各日 2,500 円
（当日券は状況により販売できないこともある）
※ 参加者及び引率者以外は全員入場券を必要とする。(幼児は座席を確保しなければ不要)
※ 参加者は両日入場券不要

4．引率者（参加申込後、引率者用リボンを送付）

・参加者１０人まで	団体引率責任者１名＋引率者１名
・参加者１１～２０人まで	団体引率責任者１名＋引率者２名
・参加者２１～３０人まで	団体引率責任者１名＋引率者３名

※引率者はすべて入場券を不要とし、１０人増えるごと引率者が１名増える
※団体引率者には、プログラム１部進呈

＜大会事務局＞　※上記１～４申込先

〒124−0024
東京都葛飾区新小岩 1−42−11 中屋ビル 304 号室
日本バトン協会関東支部
※質問・問い合わせはＥメールにてお願い致します。
Ｅメールアドレス　kanto43@tbz.t-com.ne.jp

５．課題曲ＣＤ

全日本選手権課題曲ＣＤ　１枚　2,160円　（各団体責任者は必ず購入してください。）

◆上記申込先　<一般社団法人日本バトン協会>　ＨＰより手続きができます。

６．写真撮影について

(1) 会場内での写真撮影は禁止とする。

(2) 業者による記念写真は個人の申し込み制とする。

※ＶＴＲ撮影券の販売は不特定多数の撮影により、二次的被害を防ぐため協会として禁止されました。今後ＶＴＲ撮影券の販売は致しません。

払込取扱票

00

口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。

口座記号	口座番号（右詰めで記入）	金額
00130-8	359400	千 百 十 万 千 百 十 円

加入者名：日本バトン協会関東支部

料金　　備考

通信欄

【第43回全日本BT選手権関東支部大会参加費用】

参加費合計　　　　　　　　　　円

〆切：2017年11月24日（金）

団体名

ご依頼人

〒　　－

おところ

おなまえ　　　　　　　　　　様

（ご連絡先電話番号　　－　　－　　）

日附印

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）
これより下部には何も記入しないでください。

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

切り取らないでお出しください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号：00130-8　359400

加入者名：日本バトン協会関東支部

金額：千 百 十 万 千 百 十 円

ご依頼人　おなまえ　　　　様

料金（消費税込み）　　円

日附印

備考

この受領証は、大切に保管してください。

払込取扱票

00

口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。

口座記号	口座番号（右詰めで記入）	金額
00130-8	359400	千 百 十 万 千 百 十 円

加入者名：日本バトン協会関東支部

料金　　備考

通信欄

【第43回全日本BT選手権関東支部大会前売券申込書兼払込書】

○前売り入場券（プログラム付）

両日券　3,500円×　　枚＝　　　円

10日券　2,000円×　　枚＝　　　円

11日券　2,000円×　　枚＝　　　円　合計　　　　円

※参加団体は送料不要（2回目以降は510円負担）

〆切：2018年1月17日（水）　団体名

ご依頼人

おところ

おなまえ　　　　　　　　　　様

（ご連絡先電話番号　　－　　－　　）

日附印

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）
これより下部には何も記入しないでください。

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

切り取らないでお出しください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号：00130-8　359400

加入者名：日本バトン協会関東支部

金額：千 百 十 万 千 百 十 円

ご依頼人　おなまえ　　　　様

料金（消費税込み）　　円

日附印

備考

この受領証は、大切に保管してください。